

平成22年8月27日

金大生がアンコール世界遺産インターンシップ

金沢大学は、環日本海域環境研究センターや理工学域を核として、カンボジア王国での調査研究活動ならびに教育啓蒙活動を継続してまいりました。同国でこれまでに展開してきた、生物多様性の調査やアンコール遺跡世界遺産の環境調査などで得られた成果は、同国における今後の環境保全や人材育成へむけての貴重な資料として国内外で高く評価されています。

一方、2008年4月の学域再編によって誕生した人間社会学域国際学類では、「異文化としなやかに共生できる真の国際人を育てる」をキーワードに国際的業務で活躍できる人材の育成につとめています。

本学とアンコール遺跡群の維持管理および環境保全の中核組織であるアンコール遺跡整備公団との本年2月の協定締結をふまえ、これまでの研究中心の活動を学生教育の面でさらに拡大発展させることを目的に、本年9月に国際学類の学生を中心とするインターンシップ（職場体験）を同整備公団で実施することとなりました。参加する12名の学生たちは、遊歩道の整備や水環境・森林環境の維持管理、交通量調査、観光客向けインフラの整備といったアンコール世界遺産公園での業務に公団職員とともに従事いたします。国外における外国機関でのインターンシップの実施は本学では初の試みであり、また、同公団にとってもこれだけの人数の学生を受け入れるのは初めてのことです。

著名な世界文化遺産であり第一級の国際的観光地でもあるアンコール遺跡公園は、持続的かつ創造的な発展と、自然環境、世界遺産、そして地域住民が調和する社会の創造とへむけてUNESCOをはじめとする国際機関がカンボジア政府とともに活動し、また、世界各国の遺跡修復チームなどがそれぞれに活動を展開しています。このような真の国際社会の場でのインターンシップは、これから国際社会に飛び立ってゆく学生たちにとってかけがえない経験になることが期待されます。



世界各地からの観光客であふれるアンコールワット西参道



アンコール遺跡公園の豊かな森林を維持するための育苗地管理業務



遺跡公園における自然環境の地域住民参加型維持管理

参考資料

○インターンシップの実施日程

- 2010年9月4日（土）：金沢出発，関西空港，バンコクを経由してシェムリアブに到着
- 2010年9月5日（日）：アンコール遺跡世界遺産公園の視察
- 2010年9月6日（月）～10日（金）：インターンシップ前半
- 2010年9月11日（土）～12日（日）：休日
- 2010年9月13日（月）～17日（金）：インターンシップ後半
- 2010年9月18日（土）：シェムリアブ出発，バンコク，関西空港を経由して金沢へ（9月19日到着）

○業務の内容

- ・北バライ貯水池遺構での遊歩道の整備，育苗地の管理，中央祠堂の整備
- ・西バライ貯水池遺構での遊歩道の整備，堤防の修復と保全，中央祠堂の整備
- ・遺跡公園全域における大気汚染観測，交通量調査，水質・水量調査
- ・ルン・タ・エク生態系保護区における伝統村落再生計画，湿原管理
- ・バンテイアイスレイ遺跡における観光遊歩道の整備，伝統家屋の保全管理
- ・アンコールトム遺跡における水利ネットワークの管理と整備

○参加学生

人間社会学域国際学類 6名，人間社会学域人文学類 3名，理工学域数物科学類 1名，理学部生物学科 1名，自然科学研究科 1名 計 12名

○対応教員（調査のため現地に滞在）

人間社会学域国際学類 粕谷雄一教授
人間社会学域国際学類 鹿島正裕教授・学類長
理工学域環境デザイン学系 古内正美教授
環日本海域環境研究センター 塚脇真二教授

○インターンシップの場所と交通

- アンコール遺跡整備公団シェムリアブ本部およびアンコール世界遺産公園：APSARA COEX Centre, Culture Tourism Zone, Siem Reap, Kingdom of Cambodia.
Tel. +855-63-760080, Fax. +855-63-964819, Email apsara-admin@camnet.com.kh
アンコール・シェムリアブ国際空港からタクシーで約30分

<本件に関する照会先>

人間社会学域国際学類 粕谷
Tel：076-234-4064
角間北地区事務部学生課学務第一係
Tel：076-264-5455

<担当>

広報戦略室 松本
Tel：076-264-5024